

令和6年1月29日

教育委員会定例会議案書

草津市教育委員会

付議事項（２件）

議第１号 臨時代理の承認を求めることについて

議第２号 教育委員会事務の点検および評価報告書（評価対象：令和４年度）の
議会への提出ならびに公表につき議決を求めることについて

議第1号

臨時代理の承認を求めることについて

上記の議案を提出する。

令和6年1月29日

草津市教育委員会
教育長 藤田 雅也

議第2号

教育委員会事務の点検および評価報告書（評価対象：令和4年度）の議会への提出ならびに公表につき議決を求めることについて

上記の議案を提出する。

令和6年1月29日

草津市教育委員会
教育長 藤田 雅也

**教育委員会事務の
点検および評価の報告書**

【評価対象：令和4年度】

(案)

**令和6年1月
草津市教育委員会**

< 目 次 >

I	点検・評価制度	(2)
1	趣 旨	
2	点検・評価の対象	
3	点検・評価の方法および評価指標	
4	教育委員会事務局による内部点検・評価	
5	外部評価委員会	
II	「草津市教育振興基本計画（第3期）」の基本理念と施策の基本方向	
	施策体系図	(7)
	評価シートの見方	(13)
III	教育委員会事務の点検・評価（評価対象：令和4年度）	
1	「子どもの生きる力を育む」	
	基本項目1「豊かな心と健やかな体の育成」	(15)
	基本項目2「確かな学力の育成」	(19)
2	「学校の教育力を高める」	
	基本項目3「教職員の指導力の向上」	(21)
	基本項目4「学校経営の充実」	(23)
	基本項目5「教育環境の充実」	(27)
3	「社会全体で学びを進める」	
	基本項目6「家庭・地域での学びの充実」	(29)
	基本項目7「生涯学習・スポーツの充実」	(31)
4	「歴史と文化を守り育てる」	
	基本項目8「文化・芸術の振興」	(35)
	基本項目9「文化財の保存と活用」	(37)

I 点検・評価制度

1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、教育委員会は、効果的な教育行政の推進と、市民への説明責任を果たすために、教育委員会事務の点検・評価を行い、その結果に関する報告書を公表することが義務付けられており、本市においても、令和2年3月に策定した「草津市教育振興基本計画（第3期）」の進捗状況の確認を行うことも兼ねて、計画の施策体系に沿った点検・評価を実施しました。

今年度の点検・評価にあたっては、基本項目ごとに設定した成果指標に対する実績値および主要事業の成果達成度の状況を中心に、草津市教育委員会事務外部評価委員会委員の意見、助言等をいただきながら、点検・評価を実施しました。

【 参 考 】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に規定する教育委員会の権限に属する事務および市長から補助執行を受け教育委員会において実際に管理・執行している事務を点検・評価の対象とし、「草津市教育振興基本計画（第3期）」において掲げられた4つの「施策の基本方向」に対して、それぞれ位置づけた9つの基本項目について、点検・評価を実施しました。

3 点検・評価の方法

草津市教育振興基本計画（第3期）の9つの基本項目について、教育委員会事務局にて内部点検・評価を行った後、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の意見、助言をいただきました。

4 教育委員会事務局による内部点検・評価

①達成度評価について

草津市教育振興基本計画（第3期）において9つの基本項目ごとに、成果指標の目標達成度（下記②）や関連する事業の成果達成度（下記③）などを鑑み、教育委員会事務局で評価を行いました。

②成果指標の目標達成度について

9つの基本項目ごとに設定されている成果指標（全18項目）のうち、目標値を達成できたのは6項目で全体の33.3%となり、前年度の29.4%から増加しました。

●目標達成度の状況

目標達成度	項目数（R4）	割合（R4）
100%以上	6	33.3%
75%以上 100%未満	11	61.1%
50%以上 75%未満	1	5.6%
50%未満	0	0%
計	18	

③主要事業一覧について

9つの基本項目ごとに関連する主要事業の成果達成度を評価しました。評価は下記のとおり3段階で行っています。

（◎：期待を超える成果であった、○：期待どおりの成果であった

△：期待未達の成果であった）

なお、全ての主要事業について「○：期待どおりの成果であった」と評価しています。

●主要事業に対する達成度（自己評価）の状況

事業に対する達成度 （自己評価）	主要事業数	割合
「◎」期待を超える成果であった	0	0%
「○」期待どおりの成果であった	57	100%
「△」期待未達の成果であった	0	0%
計	57	

【成果指標において目標達成度が50%以上75%未満の項目】

・基本項目9 文化財の保存と活用

成果指標 史跡草津宿本陣・草津宿街道交流館の年間入館者数

達成度 73.8% 【目標】34,500人 【実績値】25,471人

要因 R2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により入館者数は伸び悩んできたが、R3年度18,544人に対して約7,000人増加しており、新型コロナウイルス感染症の流行拡大前の水準に戻りつつある。

※以上のことから、基本項目9に関連する主要事業の達成度は「○：期待どおりの成果であった」としています。

5 草津市教育委員会事務外部評価委員会

点検・評価の客観性・透明性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の意見、助言をいただきました。

①草津市教育委員会事務外部評価委員会委員（敬称略）

渡邊 暁彦 （滋賀大学教授）

藤野 利也 （元公立小学校長）

竹本 則子 （公募市民）

②開催日時

令和5年11月24日（金） 13時30分から

③主な意見・評価

総 評

- ・草津市教育委員会がこれまで困難な課題にひとつひとつ丁寧に対応し、教育の充実に向けて取り組んできたことについて高く評価したい。
- ・成果指標の実績値を含めた客観的なデータで達成度を評価するとともに、学校現場や窓口で聞く市民の声も大切にしてもらいたい。また、実績値に一喜一憂するのではなく、施策の基本方向等を踏まえ、事業に取り組まれない。
- ・点検・評価の進め方について、昨年度の外部評価委員会において、教育委員会の幅広い事業内容をどのように評価・議論するべきかが課題となっていたが、今年度は報告書のとりまとめ方、委員への事前説明に時間をかける等の工夫がされ、効率的に行うことができたと評価している。

基本項目1 豊かな心と健やかな体の育成

- インクルーシブ教育については、学校に過度な負担がかからないよう、児童生徒本人、保護者、学校、教育委員会が協力した取組を継続していただきたい。
- 様々な要因・背景があり、学校に行きづらい状況を見せている子どもたち一人ひとりに、可能な限り寄り添い支援していただきたい。
- 教員は学校・地域・家庭の3者をつなぐ仲介者としても重要な役目を担っている。過度な負担とならないよう、必要なサポートを行政として行っていただきたい。

基本項目2 確かな学力の育成

- 成果指標にもなっている読書時間について、今の忙しい中学生にとって1時間の読書時間の確保が可能なのか、成果指標の項目として適正なのか検討していただきたい。
- 前向きに取り組んだ事業例については、積極的に外部に発信していくことも視野に入れつつ、さらなる効果の検証や改善に繋げていただきたい。

基本項目3 教員の指導力の向上

- 学校現場は講師等の人材確保に苦慮している。スクール・サポート・スタッフ配置事業などの充実・継続により、学校を支援していただきたい。
- 校内の業務改善や効率化が必ずしもうまく進んでいない実態も垣間見えるため、改善の進んでいる学校の事例を学校間で共有するなどの取組に努めていただきたい。

基本項目4 学校経営の充実

- 学校現場では、教育課題に対して組織としての対応が必要となっている。教育委員会と学校の連携を今以上に深めサポートしていただきたい。
- 「スクールESDくさつ」は地域社会のメンバーとしての意識づけや行動力を身に付けるうえで有意義な取組と評価している。令和6年度からは全小中学校で実施されるということで大変期待している。

基本項目5 教育環境の充実

- 学校施設の改修について、部材や人件費の高騰によりこれまでの予算額では対応が難しいことも考えられる。学校は災害等の避難場所としての機能もあるため、予算確保や工事の実施に尽力いただきたい。
- 校務支援システムは教員の長時間労働の改善に繋がるものと評価するが、個人情報扱うにあたり、個人情報保護の観点から学校現場に対して適切な指導を行っていただきたい。

基本項目6 家庭・地域での学びの充実

- ・家庭教育は重要なものだと思うので、その必要性や方法を発信し、学校教育と家庭教育が両輪としてうまく機能するよう取り組みを進めていただきたい。
- ・家庭で学校のことが話せないと答えている子どもに対して、家庭以外であっても話すことができる環境づくりを考えていく必要がある。
- ・青少年健全育成事業について、青少年が達成感を得られるよう、例えば計画段階から青少年が参加できる取組を検討していただきたい。

基本項目7 生涯学習・スポーツの充実

- ・国スポ・障スポの事業については、草津市を全国の人に知ってもらう機会にもなりうることを考慮して進めていただきたい。
- ・立命館びわこ講座はテーマを見て内容が難しそうという印象を持った。テーマに平易な言葉を使うなど、より多くの市民に参加を促す工夫をしていただきたい。
- ・施設の利用ルールを利用者に徹底するとともに、必要に応じてルールの見直しを行い、誰もが利用しやすい施設環境を整えていただきたい。

基本項目8 文化・芸術の振興

- ・市民が文化・芸術に触れる機会の提供には行政だけでは限界がある。産学民などの団体が主催するイベントも活用しながら、市民が文化・芸術に触れる機会の充実に努めていただきたい。
- ・昨年度の外部評価委員会での意見が今年度の事業に反映され嬉しく思う。引き続き、幅広い世代が身近に文化・芸術に触れることができる工夫を講じていただきたい。

基本項目9 文化財の保存と活用

- ・文化財を保存することと併せて、文化財の活用についても注力し、保存と活用により文化財を次世代に継承していく取組を続けていただきたい。
- ・コロナ禍が過ぎ、街道交流館の来館者数は回復しつつある。コロナ禍に積極的に取り組んできた情報発信とともに、現場ならではの体験型のイベントなど、更なる事業展開を期待している。

Ⅱ 草津市教育振興基本計画（第3期）の基本理念と施策の基本方向

1. 基本理念

本市では、平成22（2010）年3月に「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」を教育の基本理念と決めました。

この間、社会情勢の大きな変化に伴い、解決すべき課題が複雑化・多様化する中、施策の見直し・改善を続け、時代の先を行く教育の取組を進めてきました。

今後も、常に将来に目を向け、柔軟な発想と改革意識を持って取り組んでいく必要がありますが、本市教育が目指すべき姿と基本的な考え方は第3期においても変わるものではないと考え、基本理念は第1期、第2期を継承します。

基本理念

子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ

一人の人間として子どもに真摯に向き合うと、子どもの中に限りない可能性があることを信じる心が生まれます。その時、子どもの可能性を最大限に伸ばせるよう全力を尽くすことは、すべての大人の責務であるという思いにかられます。子どもたちが、伸び伸びと自分らしく成長し、その力を人のため社会のために思う存分に発揮する姿を思い描くと、本市の将来が輝いて見えてきます。未来に生きる子どもたちがはつらつとたくましく成長する姿は、家庭に幸福を与え、地域社会に希望をもたらします。

本市は、全国的に人口が減少する中においても人口増加を続けており、未来に向けて常に新しい変化を続けるまちです。どういう未来がやってくるかは、未来のために何をするか、そして子どもたちがどう育っていくかによって決まるといっても過言ではありません。教育に力を注ぐことは未来を創ることであり、「子どもが輝く教育のまち」を実現することは本市の重要な指標です。

また、本市は、古来から街道文化のまちとして栄え、人と人が出会う宿場町として発展してきました。近年においても、常に新しい転入者があり、多様な人々がともに暮らすまちとして新しい発展を続けています。本市はこうした草津の個性を生かしたまちづくりを進めていますが、教育振興においても、「出会い」と「多様性」を大切にすることが重要と考えます。

「出会い」は人との出会いだけでなく、心をゆさぶる読書体験や芸術体験、異文化に接

した驚きと感動、自然や生き物に接することによって知る命の尊さ、地域の歴史を知ることを通じた郷土への愛着心等、学びは出会いから始まるといっても過言ではありません。本市は、多様な人やものとの出会いを通して、豊かな学びを広げ、誰もが生きがいを感じられる「出会いと学びのまち」の実現を目指します。

本市の第5次総合計画では、「出会いが織りなすふるさと “元気” と “うるおい” のあるまち 草津」を構想しています。本計画も、すべての子どもが輝き、誰もが豊かな「出会いと学び」を広げられる「教育のまち」づくりを通して、この構想の実現化を目指すものです。

この目標の実現に向けて、①教育委員会が中心となって、本市の教育を創造し、②開かれた行動する教育委員会として、保護者や地域住民の意向を十分把握しながら、積極的な教育改革を進め、③学校の教員と行政の職員が協働し、草津から教育を変えようという意識をもって、斬新な教育施策を実行していきます。

これらの決意のもと、学校、家庭、地域、行政の連帯を深めた取り組みにより、市民の誰もが誇りに思える「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」の実現を目指します。

2. 施策の基本方向

施策の基本方向は、基本理念の具現化にあたっての進むべき方向性と考え方を示しています。

第3期計画では、「1. 子どもの生きる力を育む」「2. 学校の教育力を高める」「3. 社会全体で学びを進める」「4. 歴史と文化を守り育てる」の4つを掲げ、この基本方向に対して9つの基本項目を設定しました。

さらに基本項目ごとに、34の基本施策を定め、これらを体系的に取り組んでいきます。

基本方向1. 子どもの生きる力を育む

施策の基本方向の第一は、「子どもの生きる力を育む」です。

子どもが、変化が激しいこれからの社会を生きていくためには、自分も他人も大切にす
る心を育成するとともに、長い人生をたくましく生き抜くための健康な体づくりの基礎を
築いていくことや、確かな学力を身に付けることが必要です。また、子どもたち一人ひと
りが、生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望を持って自らの人生を切り拓く
ことのできる生きる力を育むことを教育の基本と捉え、施策の基本方向の第一とします。

1. 豊かな心と健やかな体の育成

人格形成の基礎が培われるといわれる乳幼児期からの育ちや学びが、その後の教育へと
円滑につながるよう、子どもの発達段階や個々の状況に応じて、学校、家庭、地域、行政
が互いに連携・協力した取組を実施し、豊かな情操や自己肯定感、規範意識、社会性など
を身につけ、多様な人とつながることのできる豊かな心を育むとともに、生涯にわたって
たくましく生きるための健やかな体の育成を目指します。

2. 確かな学力の育成

自ら学び、考え、行動する力を身に付け、多様で変化の激しい社会を生き抜く確かな学
力の育成を目指し、草津市独自の学力向上策に取り組みます。また、学校では、各校の学
力向上策を踏まえた取組に加え、ICT機器の効果的活用や検定事業、英語教育や読書活
動等を推進し、子どもが主体となって、周囲と協働し学びを深める取組を推進します。ま
た、家庭学習習慣の定着や学び方を身に付けるための支援等を通して、新しい時代を生き
ていくために必要となる基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ります。

基本方向 2. 学校の教育力を高める

施策の基本方向の第二は、「学校の教育力を高める」です。

学校は、学齢期のすべての子どもの教育を担っています。子どもが安心して学校生活を過ごすための教育環境と指導・支援体制の充実を図ることは、子どもの生きる力を育成することにつながります。また、地域や家庭から信頼される学校づくりを進め、地域・家庭との連携を強化することは、社会全体での教育の推進にもつながります。本市の教育施策を推し進めるうえで非常に重要となる学校の教育力の向上に今後も一層努めていきます。

3. 教職員の指導力の向上

教職員の研修プログラムや研究活動の充実に取り組み、よりよい授業が行えるよう教職員の指導力の向上を目指します。また、そのために必要となる時間の確保と有効な活用ができるよう、教職員の健康管理や働き方改革に取り組み、職場環境の改善も目指していきます。

4. 学校経営の充実

特色ある教育課程の実施や、地域の活力を生かした取組を推進することで、学校経営の充実を目指します。また、様々な教育課題に対応していくために、教職員の指導体制や学校を支援する体制の充実を図ります。

5. 教育環境の充実

安全・安心な学校環境を確保するため、老朽校舎の改修や非構造部材の耐震化等の施設整備を進めるとともに、学習教材等の充実を進めることで、教育力向上につながる環境整備の充実を目指します。

基本方向3. 社会全体で学びを進める

施策の基本方向の第三は、「社会全体で学びを進める」です。

家庭環境の多様化やコミュニティが希薄化する中、子どもが豊かな社会性を身に付けるために、また、子どもと大人が共に学んでいくためにも、家庭や地域での教育力の向上が求められています。また、人生100年時代においてすべての人が豊かに生きていくために、地域での学習やスポーツ活動を通して、生涯にわたって学び、活躍し続けられるまちを目指します。

6. 家庭・地域での学びの充実

子どもを育てる基礎となる家庭での教育について、保護者に対する情報提供や学習機会を充実させるなどの取組を進めます。また、地域協働合校の推進などにより、地域の大人が子どもの学びを支えるとともに、大人にとってもやりがいのある交流の機会となるようにします。

7. 生涯学習・スポーツの充実

誰もが、生涯にわたって、いつでも、どこでも学び、子どもの教育や地域の活動において、成果を生かすことができるような生涯学習機会の充実を図ります。また、スポーツを身近に感じ、楽しめるよう生涯スポーツや競技スポーツに関する取組の充実を目指すとともに、※令和7（2025）年開催予定の第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会に向けた取組を推進します。

※計画時から変更 令和6（2024）年開催予定→令和7（2025）年開催予定

基本方向 4. 歴史と文化を守り育てる

施策の基本方向の第四は、「歴史と文化を守り育てる」です。

本市の歴史は古く、数多くの貴重な文化財を含む歴史文化が現在に受け継がれています。地域に息づく歴史文化の価値や魅力をより広く、わかりやすく伝え、地域の暮らしと一体的な資産として保存・活用するとともに、誰もが文化・芸術活動に親しむことで、感性や創造性を育み、豊かに暮らしていくことができるまちを目指します。

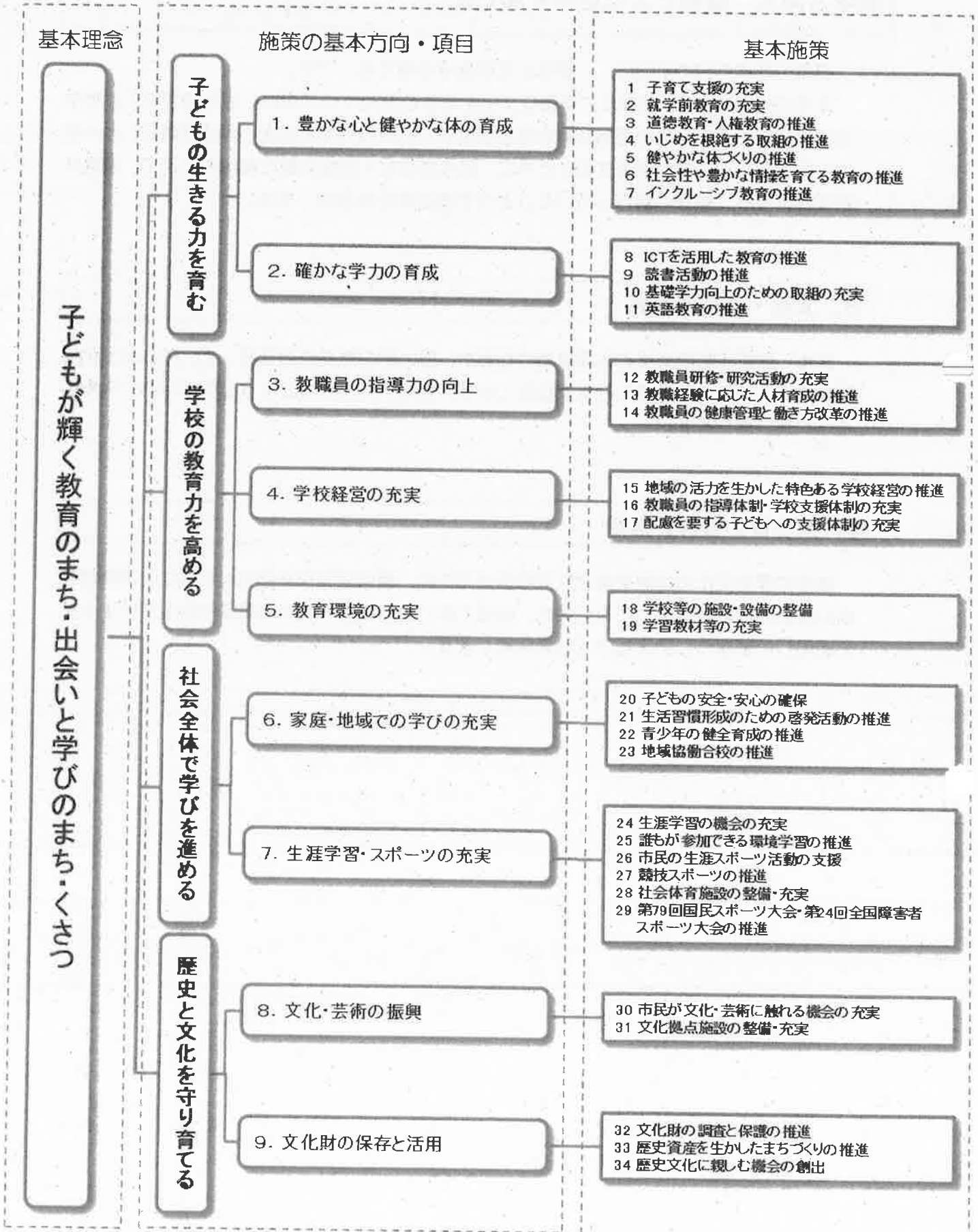
8. 文化・芸術の振興

文化・芸術活動の支援と各種事業の充実や、担い手の育成支援を通して、誰もが文化に触れることができる機会の充実を目指します。また、文化の力によって都市の魅力を高めることを目指します。

9. 文化財の保存と活用

本市の歴史文化の特徴を後世に守り伝えるため、適切な保存を図るとともに、市民が地域の歴史に触れる機会づくりに努め、地域主体による保存・活用の機運の向上や歴史文化を活用した草津らしいまちづくりを目指します。

第3期教育振興基本計画施策体系図



○評価シートの見方について

基本方向	2. 学校の教育力を高める	教育振興基本計画における概要を記載します。 (基本項目(全9項目)ごと)
基本項目	5. 教育環境の充実	
概要	安全・安心な学校環境を確保するため、老朽校舎の改修や非構造部材の耐震化等の施設整備を進めるとともに、学習教材等の充実を進めることで、教育力向上につながる環境整備の充実をめざします。	

■成果指標の目標と実績		基本項目ごとに紐づいた成果指標の目標値と実績値を記載します。					
成果指標①	非構造部材						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0
実績値	55.0	65.0	65.0	65.0	70.0		

■達成度評価	成果指標や各施策の達成度(下記)などから、教育委員会事務局にて達成度評価(内部評価)を行っています。
計画どおり工事を実施し、非構造部材の耐震対策	

■基本項目に含まれる主要事業一覧			
主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
小学校大規模改造事業【施策18】	教育総務課	○	計画どおり校舎やグラウンドの改修を実施することができたため。
中学校大規模改造事業【施策18】			
校務情報化推進事業【施策19】			
教育委員会事務局にて主要と考える事業を抽出し、達成度評価を行いました。 成果達成度:◎…期待を超える成果があった ○…期待どおりの成果があった △…期待未達の成果であった ※主要事業欄に記載されている数字【施策●】は教育振興基本計画における施策番号です(全34施策)			

■基本項目に含まれるその他の事業一覧	
事務事業	担当課
小学校管理運営事業【施策18】	教育総務課
小学校施設維持管理事業【施策18】	教育総務課
中学校管理運営事業【施策18】	教育総務課
中学校施設維持管理事業【施策18】	教育総務課
小学校教育教材整備事業【施策19】	
中学校教育教材整備事業【施策19】	
基本項目に関連する主要事業以外の事業の一覧です。	

基本方向	1. 子どもの生きる力を育む
基本項目	1. 豊かな心と健やかな体の育成
概要	人格形成の基礎が培われるといわれる乳幼児期からの育ちや学びが、その後の教育へと円滑につながるよう、子どもの発達段階や個々の状況に応じて、学校、家庭、地域、行政が互いに連携・協力した取組を実施し、豊かな情操や自己肯定感、規範意識、社会性などを身につけ、多様な人とつながることのできる豊かな心を育むとともに、生涯にわたってたくましく生きるための健やかな体の育成をめざします。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	「自分によいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合(%) 【全国学力・学習状況調査(対象:小学6年生、中学3年生)】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値(小6)	—	—	83.5	84.0	84.5	85.0	85.5
実績値(小6)	86.5	80.3	78.5	79.6	81.1		
目標値(中3)	—	—	73.5	74.0	74.5	75.0	75.5
実績値(中3)	75.6	71.8	76.1	75.0	74.5		

成果指標②	「運動やスポーツをすることは好き」と答えた児童生徒の割合(%) 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(対象:小学5年生、中学2年生)】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値(小5男)	—	—	72.5	73.0	73.5	74.0	74.5
実績値(小5男)	75.2	69.3	70.5	68.3	65.8		
目標値(小5女)	—	—	52.9	53.5	54.2	54.8	55.5
実績値(小5女)	51.6	52.7	47.2	49.0	51.3		
目標値(中2男)	—	—	62.3	62.6	62.9	63.2	63.5
実績値(中2男)	61.7	66.6	66.1	58.8	62.1		
目標値(中2女)	—	—	44.9	45.5	46.2	46.8	47.5
実績値(中2女)	43.6	48.5	44.5	42.7	44.2		

■達成度評価

発達障害等特別な教育支援を必要とする子どもの増加に伴い、インクルーシブサポーターの配置や医療的ケアが必要な児童のため看護師を配置するなど、特別支援教育の充実を図り、よりきめ細かい支援を行うことができた。児童生徒の体力向上、スポーツ傷害予防を目的とした小中学校体力向上プロジェクトでは、「運動が好き」「体育が楽しい」という気持ちを伸ばすため、学校体育の充実を図ることができた。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
施設等利用給付事業 【施策1】	幼児課	○	認可外保育施設や私立幼稚園等の無償化対象者への給付を円滑に行い、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図ることができたため。
幼稚園・認定こども園ステップアップ推進事業 【施策2】	幼児課	○	地域の特色や人材を活かして幼稚園・認定こども園の教育内容の充実を図ることができたため。
就学前教育サポート事業 【施策2】	幼児課	○	保育カウンセラーが保育者と共に、子どもや保護者への支援を行い、保育の質の向上を図ることができたため。
認定こども園管理運営事業 【施策2】	幼児施設課	○	公立幼稚園型認定こども園の運営や維持管理を適切に行うことにより、良質な教育・保育環境を提供することができたため。
人権・同和教育研究大会開催事業 【施策3】	児童生徒支援課	○	「人権・同和教育研究大会」を開催したことで、多くの市民が人権問題について考え、意見を交流する機会を持つことができたため。
生徒指導推進事業 【施策4】	児童生徒支援課	○	「草津市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、いじめの早期発見へのアドバイスや教育委員会としての体制づくりについて助言をもらい、関係機関との連携を図ることで、児童生徒対応、保護者対応を迅速に進めることができたため。
中学校体育推進事業 【施策5】	学校教育課	○	スポーツ傷害予防講習会、運動部活動支援に取り組み、学校体育の充実を図ることができたため。
小学校体育推進事業 【施策5】	学校教育課	○	スポーツ体験教室「レッツエンジョイスポーツ2022」、滋賀レイクスによる「ダンス教室」を実施し、学校体育の充実を図ることができたため。
体験実践活動推進事業 【施策6】	学校政策推進課	○	「中学生チャレンジウィーク事業」を新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部実施できなかったが、概ね再開し、生徒の働くことの大切さと、自分の将来の生き方について考える機会を持つことができたため。
インクルーシブサポーター配置事業 【施策7】	児童生徒支援課	○	特別な教育支援を必要とする子どもの増加に伴い、障害にかかわらず地域で学ぶことができるよう、きめ細かい支援を行うとともに、特別支援教育の充実を図ることができたため。
医療的ケア支援員配置事業 【施策7】	児童生徒支援課	○	日常的にたんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが必要な児童に対し、きめ細かい支援を行うとともに、特別支援教育の充実を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校給食材料購入事業【施策5】	学校給食センター
小学校給食管理運営事業【施策5】	学校給食センター
中学校給食材料購入事業【施策5】	第二学校給食センター
中学校給食管理運営費【施策5】	第二学校給食センター
児童就学援助費【施策1】	学校教育課
生徒就学援助費【施策1】	学校教育課
学校保健推進養護教諭配置事業【施策5】	学校教育課
学校環境衛生管理事業【施策5】	学校教育課
学校保健推進事務事業【施策5】	学校教育課
校医等配置事業【施策5】	学校教育課
児童・生徒等健康診断事業【施策5】	学校教育課
中学校文化部活動推進事業【施策6】	学校教育課
科学発表展覧会開催事業【施策6】	学校教育課
就学時健康診断事業【施策5】	学校教育課
小学校特別支援教育就学奨励事業【施策1、7】	学校教育課
体験実践活動推進事業【施策6】	学校教育課
中学校特別支援教育就学奨励事業【施策1、7】	学校教育課
高校生等人権教育活動事業【施策3】	児童生徒支援課
自主活動学級開設事業【施策3】	児童生徒支援課
人権教育推進事業【施策3】	児童生徒支援課
同和教育指導推進事業【施策3】	児童生徒支援課
フリースクール利用支援事業【施策4】	児童生徒支援課
教育支援委員会運営事務【施策7】	児童生徒支援課
ことばの教室運営事業【施策7】	児童生徒支援課
特別支援教育運営事業【施策7】	児童生徒支援課
青少年美術展覧会開催事業【施策6】	学校政策推進課
預かり保育事業【施策1】	幼児課
幼稚園・認定こども園指導研修事業【施策2】	幼児課
幼稚園・認定こども園保健推進事業【施策2】	幼児課
私立幼稚園運営推進事業【施策2】	幼児課
民間認定こども園運営事業【施策2】	幼児課
認定こども園管理運営事業【施策2】	幼児課
認定こども園運営支援事業【施策2】	幼児施設課

■外部評価委員会での主な意見

・保護者にも教育に積極的に関わる意識を持っていただくための取組を検討していただきたい。
 ・インクルーシブ教育については、学校に過度な負担がかからないよう、児童生徒本人、保護者、学校、教育委員会が協力した取組を継続していただきたい。
 ・成果指標①における「自分のよさ」について、子どもたちの自尊感情を育む、「自分は自分のままで良い」と思える教育を継続していただきたい。
 ・様々な要因・背景があり、学校に行きづらい状況を見せている子どもたち一人ひとりに、可能な限り寄り添い支援していただきたい。
 ・教員は学校・地域・家庭の3者をつなぐ仲介者としても重要な役目を担っている。過度な負担とならないよう、必要なサポートを行政として行っていただきたい。

基本方向	1. 子どもの生きる力を育む
基本項目	2. 確かな学力の育成
概要	自ら学び、考え、行動する力を身に付け、多様で変化の激しい社会を生き抜く確かな学力の育成をめざし、草津市独自の学力向上策に取り組みます。また、学校では、各校の学力向上策を踏まえた取組に加え、ICT機器の効果的活用や検定事業、英語教育や読書活動等を推進し、子どもが主体となって、周囲と協働し学びを深める取組を推進します。また、家庭学習習慣の定着や学び方を身に付けるための支援等を通して、新しい時代を生きていくために必要となる基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ります。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた児童生徒の割合(%) 【全国学力・学習状況調査(対象:小学6年生、中学3年生)】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値(小6)	—	—	79.5	80.0	80.5	81.0	81.5
実績値(小6)	78.2	79.0	77.2	80.6	82.3		
目標値(中3)	—	—	74.0	74.5	75.0	75.5	76.0
実績値(中3)	68.3	73.6	74.4	82.2	77.9		

※R3年度までは「授業では、課題解決に向けて自分で考え、話し合う活動を通じて考えを深めることができていると思う」と答えた児童生徒の割合(%)

成果指標②	「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答えた児童生徒の割合(%) 【全国学力・学習状況調査(対象:小学6年生、中学3年生)】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値(小6)	—	—	71.0	71.5	72.0	72.5	73.0
実績値(小6)	68.5	70.5	73.2	78.5	75.4		
目標値(中3)	—	—	53.5	54.0	54.5	55.0	55.5
実績値(中3)	51.8	52.8	59.9	64.0	63.4		

成果指標③	「学校の授業時間以外に普段(平日)1日当たり1時間以上読書をしている」と答えた児童生徒の割合(%) 【全国学力・学習状況調査(対象:小学6年生、中学3年生)】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値(小6)	—	—	—	20.4	20.6	20.8	21.0
実績値(小6)	—	20.0	20.2	20.8	20.8		
目標値(中3)	—	—	—	11.8	12.0	12.2	12.4
実績値(中3)	—	8.5	11.6	12.5	13.0		

■達成度評価

ICT教育や英語教育、道徳教育をはじめとして、単元をとおして主体的・対話的で深い学びへの授業改善を図った結果、課題解決的な学びを推進し、解答に至るまでの考え方や自分の意見を効果的に伝えることに焦点をあてた授業実践を行う教師が増えてきた。今後も引き続き、ICTを効果的に活用した授業改善を全ての市立小中学校で徹底を図る必要がある。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
学校ICT推進事業【施策8】	学校政策推進課	○	ICT教育スーパーバイザー、ICT支援員による学校訪問や研修会を行った。ICT活用の使用頻度が上がるとともに、授業において効果的な活用を重ね、子どもたちの主体的・対話的で協働的な学びが進んできたため。
子ども読書活動推進事業【施策9】	学校教育課	○	全小中学校に学校司書、学校図書館運営サポーターを配置し、学校図書館の環境整備や図書資料を活用した授業の支援等を行い、学校図書館の活性化や児童生徒の読書活動を推進することができたため。
子ども読書活動推進事業【施策9】	生涯学習課	○	乳幼児健診時およびすこやか訪問時に、家庭読書の啓発チラシを配布し、子ども読書活動の啓発および推進を図ることができたため。
小1学びの基礎育成事業【施策10】	児童生徒支援課	○	小学校14校において、タブレットPCを活用しながら一人一人の課題に応じた多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を行い、児童の読みの力を分析・把握し指導できたため。
英語教育推進事業【施策11】	学校政策推進課	○	市内全小中学校におけるALTの巡回指導や小学校オンライン授業の実施、市内6小学校へのJTE派遣により、英語教育の充実を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育委員会運営事業	教育総務課
教育委員会事務局運営事業	教育総務課
学校教育支援教員配置事業【施策10】	学校教育課
授業充実加配教員配置事業【施策10】	学校教育課
スクールESDくさつ推進事業【施策10】	学校教育課
学びの教室開催事業【施策10】	児童生徒支援課
学力向上重点事業【施策11】	学校政策推進課

■外部評価委員会での主な意見

・3つの成果指標全てが目標値を達成できており、これまでの事業の成果があらわれていると評価できる。
 ・成果指標③における読書時間については、今の忙しい中学生にとって1時間の読書時間の確保が可能なのか、成果指標の項目として適正なのか検討していただきたい。
 ・設備の導入や教員の努力により、児童生徒は先進的なICT活用がされた教育を受けることができ保護者として感謝している。
 ・前向きに取り組んだ事業例については、積極的に外部に発信していくことも視野に入れつつ、さらなる効果の検証や改善に繋げていただきたい。
 ・読書活動についてのこれまでの取組を高く評価している。事業を継続していくとともに、教育委員会と学校現場とで活動に対する成果や課題を整理し今後につなげていただきたい。

基本方向	2. 学校の教育力を高める
基本項目	3. 教職員の指導力の向上
概要	教職員の研修プログラムや研究活動の充実に取り組み、よりよい授業が行えるよう教職員の指導力の向上をめざします。また、そのために必要となる時間の確保と有効な活用ができるよう、教職員の健康管理や働き方改革に取り組み、職場環境の改善もめざしていきます。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	「自分なりの課題をもって自己研修に努めている(1(低)~5(高)の5段階評価)」の平均値 【学校運営協議会における学校評価】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	4.1	4.1	4.2	4.2	4.3
実績値	—	3.9	3.6	3.8	3.9		

成果指標②	「会議時間の短縮、行事の精選や実施方法の見直し、校務のICT化等を推進し、積極的に業務の改善や効率化に取り組んでいる(1(低)~5(高)の5段階評価)」の平均値 【学校運営協議会における学校評価】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0
実績値	—	3.7	3.7	3.7	3.4		

※R3年度までは「ワーク・ライフ・バランスを意識している(1(低)~5(高)の5段階評価)」の平均値

■達成度評価

各種研修講座やスキルアップアドバイザーの派遣等の施策を実施するとともに、校内OJTの充実等、学校現場の課題に即した学びの場を作り、教職員の指導力の向上を図っているが、教職員のさらなる資質の向上のため継続した取り組みが必要である。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
教職員研修事業 【施策12、13】	学校教育課	○	学力向上マネジメント会議や経験年数に応じた研修会、各種事業での授業研究会、講演会等を多く行い、研修を通して実践力を高められたため。
講座開設事業 【施策12、13】	教育研究所	○	新型コロナウイルス感染症対策をしながらも、今日的な課題に即した対面での研修を実施することができたため。
スキルアップアドバイザー配置事業 【施策12、13】	教育研究所	○	各学校のニーズに応じてアドバイザーの派遣を行い、教員の資質向上に関する支援を行うことができたため。
スクール・サポート・スタッフ配置事業 【施策14】	学校教育課	○	児童の家庭学習を充実させたり、学校での学習支援を行ったりすることで学力向上を図るとともに、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革の推進につながったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育調査研究事業【施策12】	教育研究所
教育研究所指導員配置事業【施策12、13】	教育研究所
教育研究所運営事務【施策12、13】	教育研究所

■外部評価委員会での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・教員に対して研修会・勉強会の機会が多く提供されており、学校現場の教員にとっては有難いことだと思っている。 ・学校現場は講師等の人材確保に苦慮している。スクール・サポート・スタッフ配置事業などの充実・継続により、学校を支援していただきたい。 ・教員が研修等で得た専門知識は、子どもの興味を引き、勉学の向上に繋がるため、継続して研修等を行っていただきたい。 ・教員の働き方改革を進め、教員の研修の時間確保と多様な研修プログラムを構築することで、教員の指導力の向上に努めていただきたい。 ・成果指標②を見ると、校内の業務改善や効率化が必ずしもうまく進んでいない実態が垣間見える。改善の進んでいる学校の事例を学校間で共有するなどの取組に努めていただきたい。

基本方向	2. 学校の教育力を高める
基本項目	4. 学校経営の充実
概要	特色ある教育課程の実施や、地域の活力を生かした取組を推進することで、学校経営の充実をめざします。また、様々な教育課題に対応していくために、教職員の指導体制や学校を支援する体制の充実を図ります。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	「学校不適應や不登校などの教育課題について、関係機関とも連携を図りながら学校組織として取り組んでいる(1(低)~5(高)の5段階評価)」の平均値 【学校運営協議会における学校評価】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0
実績値	3.7	3.9	4.0	4.3	4.1		

※R3までは「学校目標に向かって教職員一人ひとりが実践を進め、組織として機能している(1(低)~5(高)の5段階評価)」の平均値

成果指標②	「コミュニティ・スクールくさつの推進を通して学校運営の充実を図るとともに、「スクールESDくさつ」プロジェクトや地域協働合校の理念を踏まえた取組を行い、保護者や地域住民への積極的な情報発信ができていく(1(低)~5(高)の5段階評価)」の平均値 【学校運営協議会における学校評価】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8
実績値	4.5	4.4	4.2	4.1	4.0		

※R3までは「保護者や地域住民への積極的な情報発信ができていく(1(低)~5(高)の5段階評価)」の平均値

■達成度評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら取組を進める中で、教職員に、課題に対して組織的に対応する体制が進んできた。新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが段階的に下がる中で、適切な教育活動を実施し、児童生徒への確かな支援をするため適材適所の人材配置や効果的な連携の仕方について検討を進める必要がある。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
コミュニティ・スクールくさつ推進事業【施策15】	学校政策推進課	○	全小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、学校、保護者、地域の組織的かつ継続的な連携と協働体制の確立し、協議内容を熟議する意識が進んだ。また、ESD推進のため、地域連携を進めることができたため。
スクールESDくさつ推進事業【施策15】	学校教育課	○	令和6年度の全校実施に向けて、小中学校の担当者による学力向上マネジメント会議を開催することで、各校のスクールESDに関する理解が深まり実践が充実したため。 また、モデル校3校で先進的事例の開発・検証を行い、その成果を報告会で全小中学校に広げたことで、児童生徒の意識アンケートで成果が見られる回答であったため。
スクール・サポート・スタッフ配置事業(再掲)【施策16】	学校教育課	○	児童の家庭学習を充実させたり、学校での学習支援を行ったりすることで学力向上を図るとともに、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革の推進につながったため。
学校問題サポートチーム運営事業【施策16】	教育研究所	○	学校での対応困難なケースについて、専門家から適切なアドバイスを提供することで、事態の改善に向け具体的な指導や支援を行ったため。
教室アシスタント配置事業【施策16】	児童生徒支援課	○	小学1年生全てのクラス等に教室アシスタントを配置することで、児童生徒へのきめ細やかな支援を行うことができ、安心して学校生活を送れるようになったため。
中学校生徒指導主事活動推進事業【施策17】	児童生徒支援課	○	児童生徒の問題行動等の未然防止および早期発見・早期解消に向け、学校を中心とした取組を充実させるとともに、関係機関等との連携や啓発活動を行うことができたため。
学校問題相談支援事業【施策17】	児童生徒支援課	○	学校不適応や不登校等の児童生徒が抱える課題があるため、スクールソーシャルワーカー、いじめ等問題行動対策アドバイザーの派遣を行い、様々な学校問題の解決と円滑な学校運営を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
学事管理事務【施策16】	学校教育課
学校運営支援事業【施策16】	学校教育課
学校基本調査事務【施策16】	学校教育課
通学区域管理事務【施策16】	学校教育課
学生ボランティア派遣事業【施策16】	学校教育課
学校支援対策充実事業【施策16】	児童生徒支援課
外国人児童生徒教育支援事業【施策17】	児童生徒支援課
児童生徒支援事務【施策17】	児童生徒支援課
児童通学支援事業【施策17】	児童生徒支援課
学校運営支援事業【施策16】	学校政策推進課
学校運営支援事業【施策16】	教育研究所
やまびこ教育相談室運営事業【施策17】	教育研究所

■外部評価委員会での主な意見

- ・学校現場では、教育課題に対して組織としての対応が必要となっている。教育委員会と学校の連携を今以上に深めサポートしていただきたい。
- ・「スクールESDくさつ」では、自分たちで課題を発見し、解決策を考えるという能動的な学習ができると評価している。
- ・「スクールESDくさつ」は地域社会のメンバーとしての意識づけや行動力を身に付けるうえで有意義な取組と評価している。令和6年度からは全小中学校で実施されるということで大変期待している。
- ・「スクール・サポート・スタッフ配置事業」などで教職員の長時間労働の改善が見込める反面、教職員とスタッフとの間で意思疎通に齟齬がうまれる可能性もある。教職員及びスタッフが機能的に連携できるよう、教育委員会として指導・支援に努めていただきたい。

基本方向	2. 学校の教育力を高める
基本項目	5. 教育環境の充実
概要	安全・安心な学校環境を確保するため、老朽校舎の改修や非構造部材の耐震化等の施設整備を進めるとともに、学習教材等の充実を進めることで、教育力向上につながる環境整備の充実をめざします。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	非構造部材の耐震化工事実施校の割合(%)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0
実績値	55.0	65.0	65.0	65.0	70.0		

■達成度評価

計画どおり工事を実施し、非構造部材の耐震対策が図られた。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
小学校大規模改造事業【施策18】	教育総務課	○	計画どおり校舎やグラウンドの改修を実施することができたため。
中学校大規模改造事業【施策18】	教育総務課	○	計画どおりトイレの改修を実施することができたため。
校務情報化推進事業【施策19】	学校政策推進課	○	校務用コンピュータの維持管理を行い、メール配信システムや校務支援システムの運用により、校務の効率化を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校管理運営事業【施策18】	教育総務課
小学校施設維持管理事業【施策18】	教育総務課
中学校管理運営事業【施策18】	教育総務課
中学校施設維持管理事業【施策18】	教育総務課
小学校教育教材整備事業【施策19】	教育総務課
中学校教育教材整備事業【施策19】	教育総務課

■外部評価委員会での主な意見

- ・学校施設の改修について、部材や人件費の高騰によりこれまでの予算額では対応が難しいことも考えられる。学校は災害等の避難場所としての機能もあるため、予算確保や工事の実施に尽力いただきたい。
- ・学校の大規模改修や校務支援システム変更の時には情報発信をしていただき、市民に教育委員会が力を入れている、努力していることを伝えていただければと思う。
- ・学校の改修事業などを通して子どもの教育環境の改善を行っていただき、保護者として感謝している。引き続き尽力いただきたい。
- ・教育施設の点検について、学校や地域の実情に合わせたマニュアル作成など、安全な施設維持および管理に努めていただきたい。
- ・校務支援システムは教員の長時間労働の改善に繋がるものと評価するが、個人情報扱うにあたり、個人情報保護の観点から学校現場に対して適切な指導を行っていただきたい。

基本方向	3. 社会全体で学びを進める
基本項目	6. 家庭・地域での学びの充実
概要	子どもを育てる基礎となる家庭での教育について、保護者に対する情報提供や学習機会を充実させるなどの取組を進めます。また、地域協働合校の推進などにより、地域の大人が子どもの学びを支えるとともに、大人にとってもやりがいのある交流の機会となるようにします。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	地域協働合校の推進に満足している市民の割合(%) 【草津市のまちづくりについての市民意識調査】(R4回答数:952件)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	21.5	22.0	22.0	22.5	22.5
実績値	21.4	21.8	21.5	16.9	17.2		

成果指標②	「家の人(兄弟姉妹を除く)と学校の出来事について話をする」と答えた児童生徒の割合(%)【学びのアンケート調査(草津市教育委員会実施)】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値(小)	—	—	—	—	85.0	85.5	86.0
実績値(小)	—	—	80.0	82.9	80.0		
目標値(中)	—	—	—	—	75.0	75.5	76.0
実績値(中)	—	—	76.9	73.2	75.6		

■達成度評価

地域協働合校では、学校と地域が協働して地域の人材や資源を積極的に活用し、子どもと大人が多種多様な活動を市内全小中学校において実施し、様々な経験や知識を持った地域の大人との交流を通じて、子どもの豊かな心の成長や大人自身のやりがいに繋げることができた。

また、地域・学校・関係機関の連携により、青少年の健全育成活動に取り組み、青少年がたくましく生きることができる環境整備をすることができた。また、少年センターにおいて、非行からの立ち直り支援を実施し、青少年の自立を後押しすることができた。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
地域ぐるみの学校安全推進事業【施策20】	学校教育課	○	児童の登下校を見守るスクールガードに対して必要な物品の支給などの援助を行うことで、地域と連携した防犯対策に取り組み、子どもの安全・安心の確保が図れたため。
家庭教育推進事業【施策21】	生涯学習課	○	地元PTA団体の実施する家庭教育に対する取組を支援するとともに、家庭教育に関連する講座を開催することで、家庭での教育力を高めることができたため。
青少年育成活動事業【施策22】	子ども家庭・若者課	○	青少年の主張発表大会、青少年育成大会を開催、広報誌を発行することにより、青少年の健全育成の推進について、広く市民に周知することができたため。
少年センター管理運営事業【施策22】	子ども家庭・若者課	○	少年やその家族等からの相談に応じるとともに、少年補導委員や警察、学校等と協力しながら、街頭補導等の活動を地域一体となって実施することができたため。
地域協働合校推進事業【施策23】	生涯学習課	○	市内すべての小中学校において、学校・家庭・地域の連携による地域協働合校を実施できたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
学校災害賠償補償保険事務【施策20】	学校教育課
児童・生徒安全対策事業【施策20】	学校教育課
通学路対策事業【施策20】	学校教育課
日本スポーツ振興センター負担金事務【施策20】	学校教育課

■外部評価委員会での主な意見

・成果指標①の実績値は低いと、地域や社会の結びつきを強め、次期計画を見据えた地域協働合校の取組を行っていただきたい。

・家庭教育は重要なものだと思うので、その必要性や方法を発信し、学校教育と家庭教育が両輪としてうまく機能するよう取組を進めていただきたい。

・地域協働合校は子ども、保護者や地域の大人の双方にとって良い事業と思う。保護者以外の地域の大人への認知が低いと思われるので、認知してもらえるように尽力いただきたい。

・成果指標②に関して、家庭で学校のことが話せないと答えている子どもに対して、家庭以外であっても話すことができる環境づくりを考えていく必要がある。

・スクールガードについて、地域住民の協力が継続的に得られるよう働きかけるとともに、地域全体で子どもの安心・安全に努めていただきたい。

・青少年健全育成事業について、青少年が達成感を得られるよう、例えば計画段階から青少年が参加できる取組を検討していただきたい。

基本方向	3. 社会全体で学びを進める
基本項目	7. 生涯学習・スポーツの充実
概要	誰もが、生涯にわたって、いつでも、どこでも学び、子どもの教育や地域の活動において、成果を生かすことができるような生涯学習機会の充実を図ります。また、スポーツを身近に感じ、楽しめるよう生涯スポーツや競技スポーツに関する取組の充実をめざすとともに、令和6年(2024)年開催予定の第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会に向けた取組を推進します。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	生涯学習・スポーツの充実に満足している市民の割合(%) 【草津市のまちづくりについての市民意識調査】(R4回答数:952件)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5
実績値	23.7	27.1	24.8	24.3	23.5		

成果指標②	図書館利用者の満足度(%) 【図書館利用者アンケート】(R4回答数:522件)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	58.0	58.5	59.0	59.5	60.0
実績値	56.1	60.0	75.6	78.3	72.4		

成果指標③	社会体育施設利用者の満足度(%) 【社会体育施設利用者アンケート】(R4回答数:488件)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	71.0	72.0	73.0	74.0	75.0
実績値	66.8	73.0	74.2	74.4	73.8		

■達成度評価

「立命館びわこ講座」は、コロナ禍を考慮したオンラインによる講座実施およびサテライト上映を実施し、市民の学習機会の確保に務めた結果、一定の効果が見られた。図書館においては、南館20周年(R4年7月)の20周年記念事業を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、各種事業を行い、市全域でのサービスを進めるため、移動図書館車の巡回場所を増やして運行した結果、読書機会の創出につながった。また、施設の適切な維持管理を行うことで、スポーツ教室や講習会、スポーツ大会を開催することができた。引き続き、計画的に施設の整備や充実を図り、利用者満足度の向上につなげる。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
社会教育推進事業 【施策24】	生涯学習課	○	「立命館びわこ講座」を立命館大学との連携で実施し、市民へ学習機会を提供することができたため。
学習ボランティア推進事業 【施策24】	生涯学習課	○	冊子「ゆうゆうびとバンク」を発行し、学習ボランティア活動の推進を図ることができたため。
図書館運営事業 【施策24】	図書館	○	南館の開館20周年記念事業として「つなぐ」をテーマに児童コーナーのリニューアル、記念講演会、記念ロゴの募集等を実施するとともに、野外おはなし会や移動図書館巡回などの従来からの各種事業についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら行い、11月3日(文化の日)の図書館まつりにおいて、図書館ビブリオバトル、絵本のひろば等の特別企画を行った結果、図書館利用の促進につなげることができ、期待通りの成果を得ることができたため。
南草津図書館運営事業 【施策24】	南草津図書館	○	
地域協働合校推進事業(再掲) 【施策25】	生涯学習課	○	各学校において「まちたんけん」を実施し地域の課題を見つけ、解決策を考えることで、持続可能な社会を考える機会や地域への愛着を育む環境学習を実施することができたため。
学校体育施設開放推進事業 【施策26】	スポーツ推進課	○	適切な維持管理を行い、市民がスポーツに親しむ環境を提供することができたため。
市民体育大会開催費補助事業 【施策26、27】	スポーツ推進課	○	コロナ禍で縮小しながらも、市民体育大会を開催することで、市民が競技スポーツに取り組み、応援する機会を設けることができたため。
県民体育大会等出場支援補助事業 【施策26、27】	スポーツ推進課	○	県民体育大会出場に対する支援を行い、市民の競技力向上につなげることができたため。
社会体育施設管理運営事業 【施策28】	スポーツ推進課	○	コロナ禍における施設の感染症対策を実施しながら、適切な維持管理に努めることができたため。
大規模大会開催事業 【施策29】	国スポ・障スポ推進室	○	より良い大会の実現に向けた準備として草津市準備委員会を草津市実行委員会に改組することができた。また、各種イベントにおいてブースを設置し、啓発活動に取り組むことができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
図書館施設管理事業【施策24】	図書館
南草津図書館施設管理事業【施策24】	南草津図書館
総合型地域スポーツクラブ補助事業【施策26】	スポーツ推進課
チャレンジスポーツデー開催費補助金事務【施策26】	スポーツ推進課
駅伝競走大会開催費補助金事務【施策26、27】	スポーツ推進課
スポーツ協会事業費補助金事務【施策26、27】	スポーツ推進課
スポーツ少年団育成事業【施策26、27】	スポーツ推進課
スポーツ推進委員活動推進事業【施策26、27】	スポーツ推進課
スポーツ推進計画事業【施策26、27】	スポーツ推進課
スポーツ推進審議会運営事業【施策26、27】	スポーツ推進課
各種スポーツ団体活動支援事業【施策26、27】	スポーツ推進課
各種大会負担金事務【施策26、27】	スポーツ推進課
各種大会補助金事務【施策26、27】	スポーツ推進課
各種大会出場者激励事業【施策27】	スポーツ推進課

■外部評価委員会での主な意見

・成果指標②と③の実績を見ると、実際の施設利用者からは高い評価をもらっている。一方、市民全体を対象としている成果指標①での評価は低い。これから生涯学習やスポーツを始めたいと思っている、まだ施設を利用していない人に対する取組を行っていけば、指標①の満足度は増加すると思う。

・国スポ・障スポの事業については、草津市を全国の人に知ってもらう機会にもなりうることを考慮して進めていただきたい。

・ビブリオバトルは子どものコミュニケーション能力を身に付けるためにも効果的な取組と評価している。継続した取組をお願いしたい。

・立命館びわこ講座はテーマを見て内容が難しそうという印象を持った。テーマに平易な言葉を使うなど、より多くの市民に参加を促す工夫をしていただきたい。

・施設の貸し出しなどにおいて、特定の団体・競技に偏ることなく、公平性の観点に基づいた施設の運用につとめていただきたい。

・施設の利用ルールを利用者に徹底するとともに、必要に応じてルールの見直しを行い、誰もが利用しやすい施設環境を整えていただきたい。

基本方向	4. 歴史と文化を守り育てる
基本項目	8. 文化・芸術の振興
概要	文化・芸術活動の支援と各種事業の充実や、担い手の育成支援を通して、誰もが文化に触れることができる機会の充実をめざします。また、文化の力によって都市の魅力を高めることをめざします。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合(%) 【草津市のまちづくりについての市民意識調査】(R4回答数:952件)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0
実績値	21.6	21.2	21.2	21.8	23.5		

■達成度評価

アートフェスタくさつやキッズシネマ塾、俳句入門講座など、新型コロナウイルス感染症の影響によって中止となっていた事業を再開し、市民が文化に触れる機会を創出することで文化の振興を図れた。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
市美術展覧会開催事業 【施策30】	生涯学習課	○	新型コロナウイルス感染症の影響により短縮していた会期を戻し、市民に発表・鑑賞の機会を提供できたため。
市民文化芸術活動支援事業 【施策30】	生涯学習課	○	アートフェスタくさつやキッズシネマ塾を再開し、産官民の協働による文化振興に取り組むことができたため。
俳句のまちづくり事業 【施策30】	生涯学習課	○	青少年俳句大会やふるさと草津俳句会の開催、俳句入門講座の再開で、市民が俳句に親しむ機会を提供できたため。
文化ホール管理運営事業 【施策31】	生涯学習課	○	文化活動の拠点施設として、感染症対策を講じながら指定管理者による適切な施設管理を行い、文化事業を展開できたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
三ツ池計画予定地管理事業【施策31】	生涯学習課

■外部評価委員会での主な意見

- ・市民が文化・芸術に触れる機会の提供には行政だけでは限界がある。産学民などの団体が主催するイベントも活用しながら、市民が文化・芸術に触れる機会の充実に努めていただきたい。
- ・世代ごとに文化・芸術に対して求めるニーズは異なると思うので、ニーズの把握、ニーズに即した取組を進め、指標の評価を上げていただきたい。
- ・子どもたちは「俳句入門講座」や「キッズシネマ塾」などを通して、自分自身が力を身に付けたり、自分を発揮できる場を見つけられるため、継続して行っていただきたい。
- ・昨年度の外部評価委員会での意見が今年度の事業に反映され嬉しく思う。引き続き、幅広い世代が身近に文化・芸術に触れることができる工夫を講じていただきたい。
- ・多くの市民にイベントへ参加してもらうために、既存の情報発信方法に加えて、市民同士のネットワークや口コミ等を活用して、より多くの人々へ働きかけを行っていただきたい。

基本方向	4. 歴史と文化を守り育てる
基本項目	9. 文化財の保存と活用
概要	本市の歴史文化の特徴を後世に守り伝えるため、適切な保存を図るとともに、市民が地域の歴史に触れる機会づくりに努め、地域主体による保存・活用の機運の向上や歴史文化を活用した草津らしいまちづくりをめざします。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	文化財指定件数(件)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	95	95	96	96	97
実績値	94	94	94	94	94		

成果指標②	史跡草津宿本陣・草津街道交流館の年間入館者数(人)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	34,200	34,500	34,500	34,500	34,500
実績値	33,072	33,994	12,454	18,544	25,471		

■達成度評価

発掘調査の件数が多いなか、計画的に調査事業を実施し、遺跡の実態を適正に記録保持することができた。また、国指定史跡の整備や文化財保存事業に対する補助金の交付などを計画的に実施し、文化財保護の推進を図ることができた。また、草津市文化財保存活用地域計画に基づく事業進捗を図りつつ、地域の文化財に興味関心をもてるような取り組みを実施することができた。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的な事業展開を行うことはできなかったが、昨年度と比較しHPやSNS等による情報発信に力を入れ、情報発信件数を増加させた結果、コロナ前に設定した入館者数の目標値には届かなかったが、昨年度より増加し一定の回復をみた。今後も文化財保存活用地域計画に基づく、事業の検討および実施が必要である。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
埋蔵文化財発掘調査事業【施策32】	歴史文化財課	○	試掘、本発掘調査ともに計画どおり実施でき、遺跡の実態を適正に記録保持することができたため。
宅地開発等関連遺跡発掘調査事業【施策32】	歴史文化財課	○	開発等に伴う発掘調査及び整理業務を計画どおり進め、遺跡の実態を適正に記録保持することができたため。
史跡草津宿本陣整備事業【施策32】	歴史文化財課	○	国庫補助の範囲内で、計画どおり整備進捗を図ることができたため。
文化財保護助成事業【施策32】	歴史文化財課	○	所有者に対し適正に保護助成を行うことで、文化財の保存管理、育成、活用を図ることができたため。
史跡芦浦観音寺跡整備事業【施策32】	歴史文化財課	○	国庫補助の範囲内で、計画どおり整備進捗を図ることができたため。
文化財普及啓発事業【施策33】	歴史文化財課	○	例年以上に文化財を活用した取組を実施することができ、ふるさと意識の醸成に繋がったため。
史跡草津宿本陣管理事業【施策34】	草津宿街道交流館	○	新型コロナウイルス感染症の影響で、目標としていた年間入館者数は下回ったが、草津の歴史文化の魅力発信に力を入れた結果、情報発信件数を増やせたため。
草津宿街道交流館運営事業【施策34】	草津宿街道交流館	○	新型コロナウイルス感染症の影響で、目標としていた年間入館者数は下回ったが、草津の歴史文化の魅力発信に力を入れた結果、情報発信件数を増やせたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
歴史資料管理事業【施策32】	歴史文化財課
文化財保護推進事業【施策32】	歴史文化財課
未指定文化財調査事業【施策32】	歴史文化財課
文化財保護審議会運営事業【施策32】	歴史文化財課
重要文化財整備助成事業【施策32、33】	歴史文化財課
史跡野路小野山製鉄遺跡整備事業【施策32、33】	歴史文化財課

■外部評価委員会での主な意見

・サンヤレ踊りがユネスコ無形文化財遺産に登録されたことを機に啓発活動を積極的に行っていただいている。ひと時の盛り上がりで終わるのではなく、継続した啓発を行い市民に根付かせていただきたい。

・文化財を保存することと併せて、文化財の活用についても注力し、保存と活用により文化財を次世代に継承していく取組を続けていただきたい。

・昔からその地に住んでいる市民が、地元の歴史に興味を持たれていることも多い。このような興味に応える取組を通して、歴史の継承を行っていただきたい。

・街道交流館の来館者数は回復しつつある。コロナ禍に積極的に取り組んできた情報発信とともに、現場ならではの体験型のイベントなど、更なる事業展開を期待している。

・歴史的に繋がりのある他市町村と連携事業を行うことで、あらためて草津市ならではの歴史や文化の意義を実感できるとよいのではないかと。

